

はぎたん最終発表

～コウライタチバナの全てを明かしてみた！～

山口県立萩高等学校自然科学科 白石雄一郎

目次

コウライタチバナ発見の来歴

コウライタチバナの概要

コウライタチバナの現状

フローチャート改の作成

•発見の来歴

1925 タチバナ採集、タチバナ北限自生地に

1933 タチバナ採集

1950 コウライタチバナ命名

1953 国指定天然記念物に



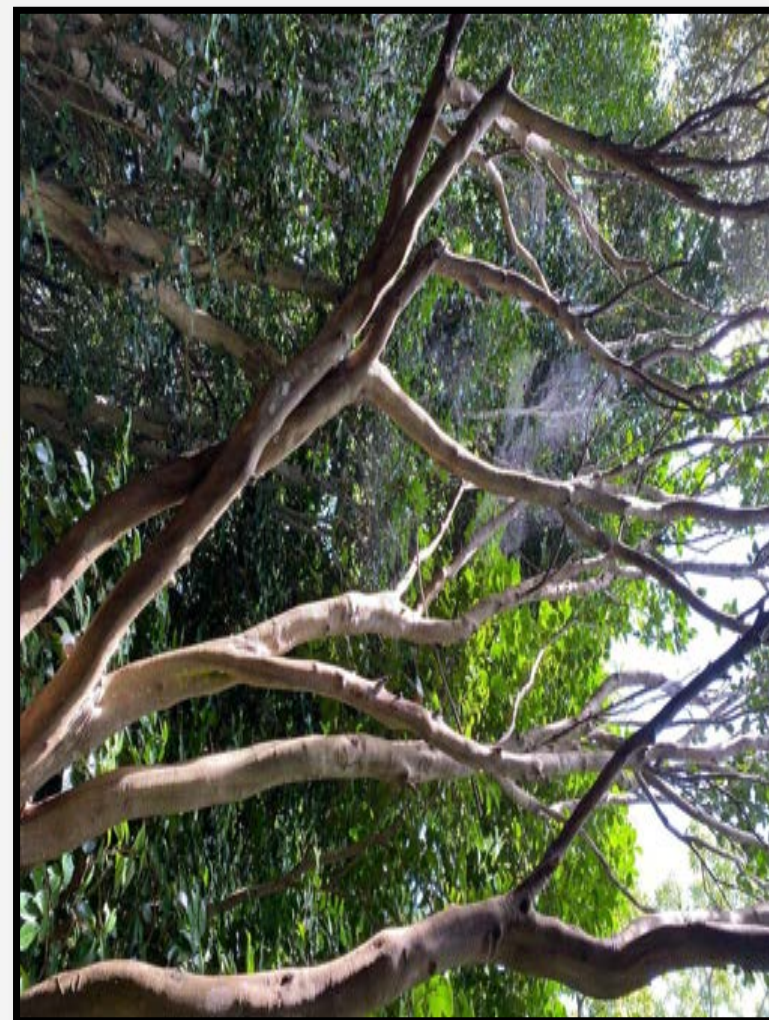
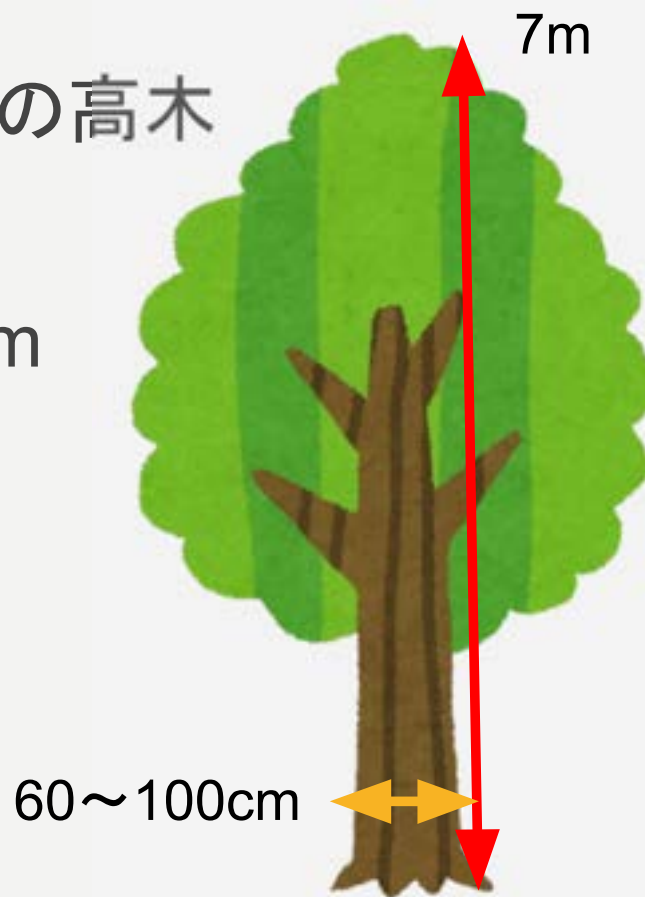
コウライタチバナの概要

(樹木)

棘の多い直立性の高木

高さ: 7m

幹周: 60~100cm



コウライタチバナの概要

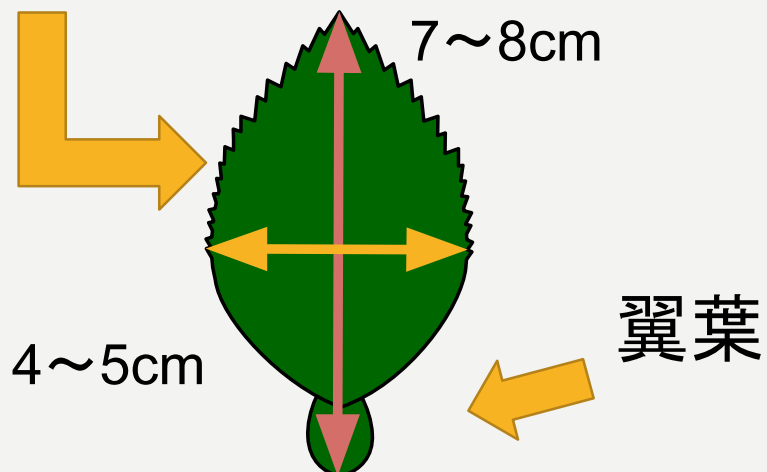
(葉)

ナツミカンと似た葉

翼葉がある

長さ: 7~8cm、幅: 4~5cm

鋸歯があるものもみられる



コウライタチバナの概要

(果実)

潰れた球状

直径: 5cm

重さ: 40g

色: 橙色

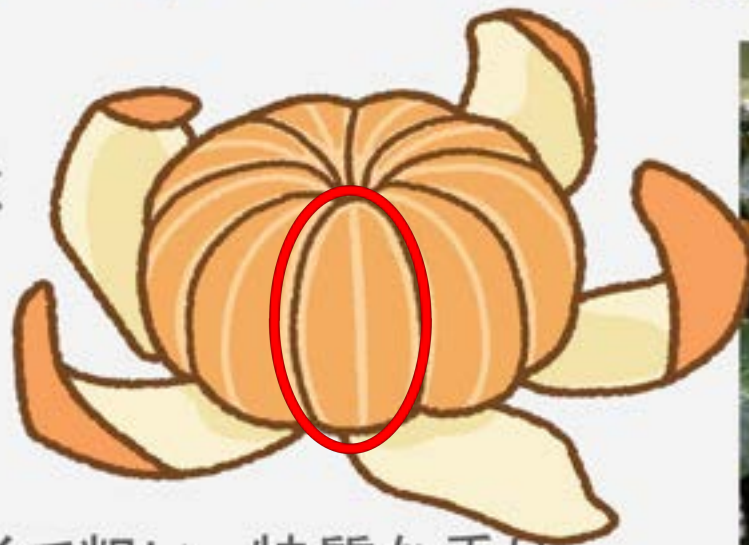
皮: やや硬くて粗い、特質な香り

中身: じょうのうは10個前後、

果肉は黄色で柔らかい

味: 酸味が強く、瑞々しくない

→ 食用には不向き



コウライタチバナ所在地



コウライタチバナ所在地



コウライタチバナの現状

〈昭和62年11月(1987年)時点〉

- ・自生している本数：コウライタチバナ6本、タチバナ1本
- ・樹木の状態：樹冠の30～90%が枯れ、幹の太さのわりに

樹冠が小さい

※樹冠：樹木の上部、枝や葉が集まった部分



〈現在(2022年)時点〉

- ・確認できた本数：コウライタチバナ2本、タチバナ0本
- ・樹木の状態：樹冠の大きさ小さい

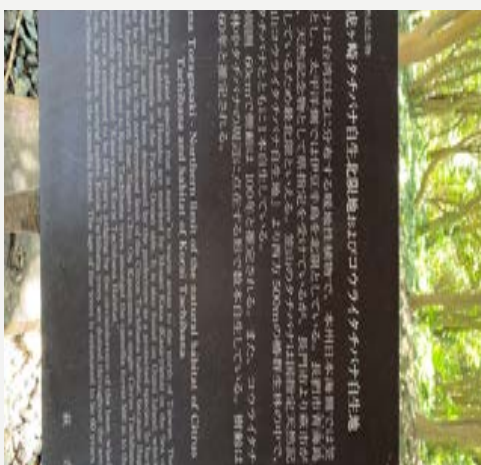
コウライタチバナの現状



コウライタチバナの現状

(虎ヶ崎周辺)

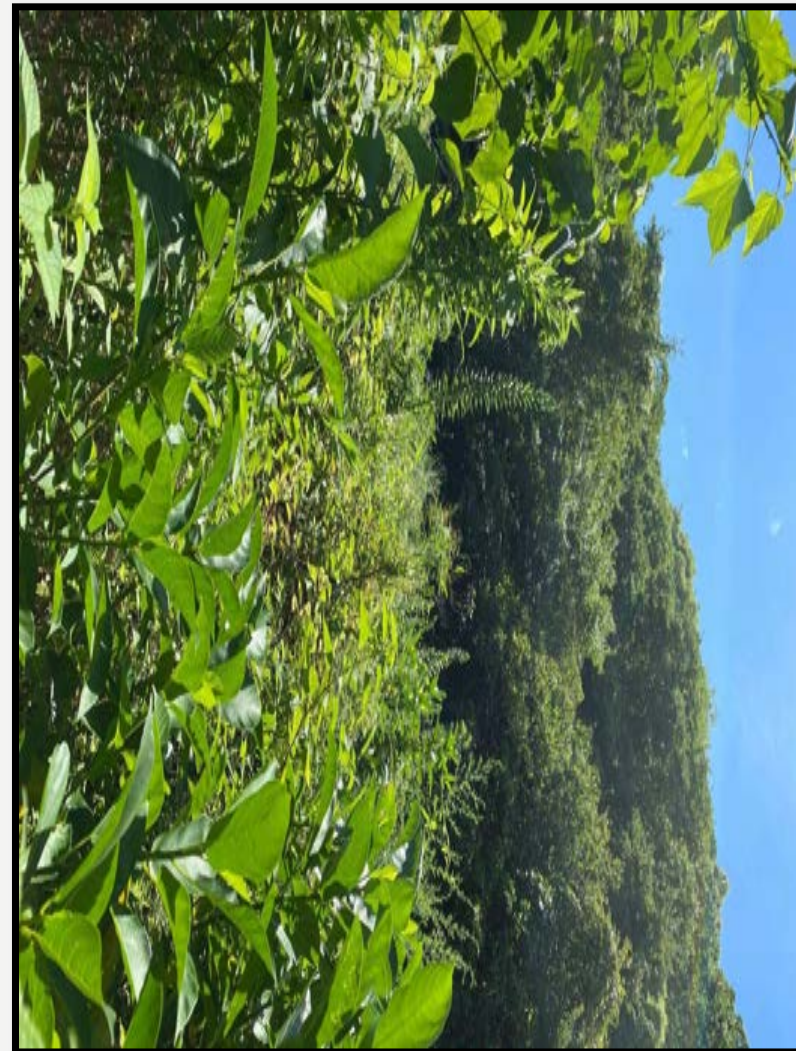
- ・道のそばに1本、
東屋の近くに1本
- ・近くにあるはずのコウライタチバナとタチバナ
は確認できず



コウライタチバナの現状

(コウライタチバナ自生地周辺)

- ・現地に行くまでの道の草がボーボー
- ・遊歩道の木が見えない
- ・背の高い雑草が生い茂り、コウライタチバナがあるのか確認すらできなかった





コウライタチバナの現状

〈原因〉

○遊歩道の整備不足

...コウライタチバナは陽樹のため管理を怠ると遷移に飲み込まれる

○遊歩道への立ち入りが禁止に

...何らかの危険があった?or私有地化された?



ボランティアで掃除ができるかの確認が必須

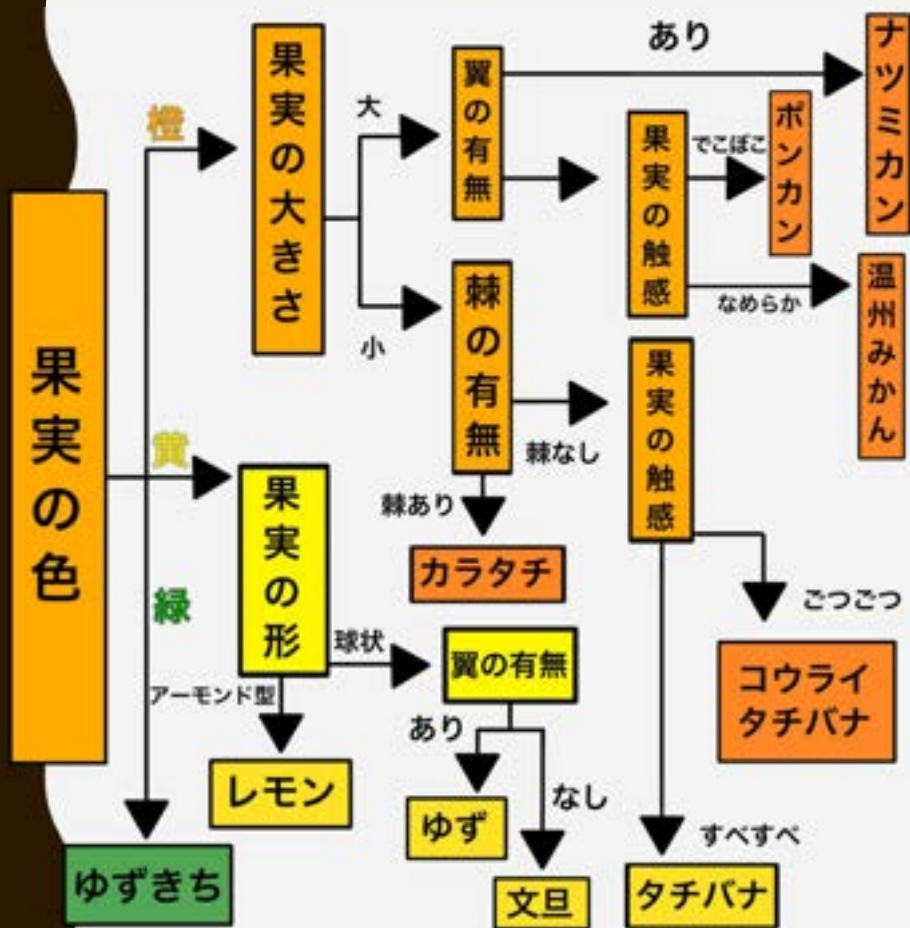
→草野さん(萩市の環境アドバイザー)や

笠山を管轄する団体に連絡が必要!

がっくんがかかわっている団体と清掃活動できる?



フローチャートの作成



前回のフローチャートの課題

○気づけなかったミス

→かんきつ振興センターに連絡し、**ミス**を修正

○使える時期の狭さ: 果実の色がベース

→葉っぱや翼葉の差異で区別⇒**年中使用**

○表現の曖昧さ: ゴツゴツやすべすべ

→触覚による判別をなくし**個人差**↓

探究活動を通しての感想

- コウライタチバナ自生地が現状が**深刻**
 - 早急に整備が必要
- フローチャートが完成した
 - ぜひどこかで活用したい
- 実験するには自生数や量が足りない
 - **植樹**的なものができればいいな
- 論文を参考にしてスライドを作った
 - 将来のためになった

2年間を通しての感想

○知識を深めていくのが楽しかった！

…自分の好きな分野の探究活動ができた、自分のペースで探究活動できた

○大学生のサポートが手厚かった

…探究方法の様々なアドバイスやサポート

○やりたいことがまだまだ沢山！

…大学生に入っても続けたい(サポート側として参加したい)！

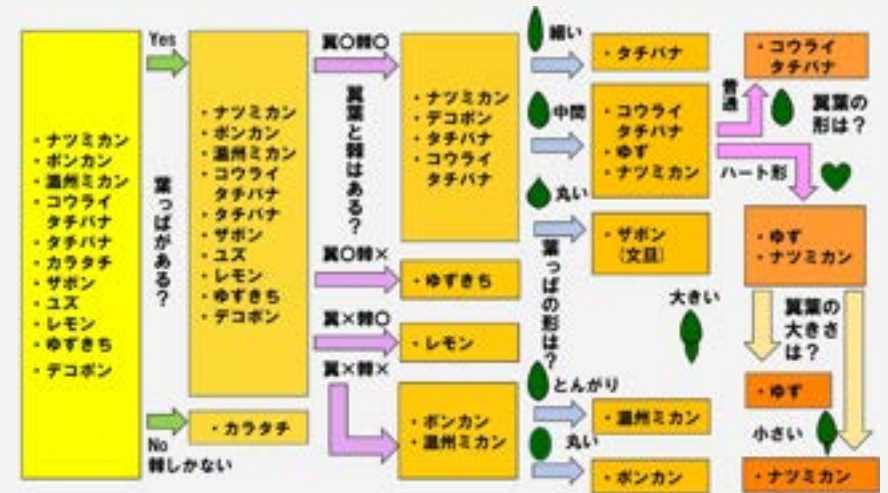
謝辞

- 草野隆司さん(環境アドバイザー)
- 観光協会の方々
- かんきつ振興センターの西村さん
- ジオパーク推進課の白井さん
- 論文を書いてくださった中村さん
- 中野校長先生
- すずかん先生
- 大学生の皆さん！

本当にありがとうございました！

参考文献

- 笠山こうらいたちばな自生地(著:中村光夫)
- タチバナの保護を考える(著:武内和彦)
- 萩市郷土博物館研究報告
- 日本柑橘図譜
- 僕ら越ヶ浜探検隊



ご清聴ありがとうございました！

